

2026年 3月//日

口腔外科科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「 歯原性腫瘍の発症状況に関する全国調査 」 への協力のお願い

口腔外科では、下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2018年1月1日～2023年12月31日の間に、当科において、病理組織学的に歯原性腫瘍と診断され、治療を受けられた方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2027年 3月31日

研究目的・利用方法：

歯原性腫瘍は歯の発生にかかわる組織に生じる腫瘍ですが、わが国での発生状況が明らかとなっていません。また、歯原性腫瘍のうち、エナメル上皮腫は、若年者に発症しやすく、再発しやすいですが、治療方針は必ずしも画一的ではないという問題を抱えています。本研究で、全国での歯原性腫瘍の発生状況や診療内容などを明らかにすることにより、治療の均てん化を図り、診療ガイドラインを作成することを目的とします。

研究に用いる試料・情報の項目：対象となる患者さんのカルテを用いて、診断名（2024年のWHO国際分類に準拠します）、年齢、性別、発症部位を調べます。さらにエナメル上皮腫については、主訴（おもな症状）、特徴的な画像（レントゲン）所見、治療法、再発の有無や期間などの診療情報を集計します。

研究に用いる試料・情報の利用又は提供を開始する予定日：2026年3月/2日

外部への試料・情報の提供：

個人情報削除した集計結果をデータシートに記入し、セキュリティーを確保したクラウド上でデータの授受を行います。

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、代表機関である朝日大学病院医学倫理審査委員会において一括審査、承認され、病院長の許可を得ております。各共同研究機関においても研究機関の長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治

療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び共同研究機関に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究代表者

東京歯科大学口腔腫瘍外科学講座

氏名：野村 武史

研究責任者

朝日大学病院 口腔外科

氏名：畠山大二郎

共同研究機関等：東京歯科大学口腔病態外科学講座 北海道大学口腔顎顔面外科学教室 北海道大学口腔顎顔面外科学教室 北海道大学放射線学教室 九州大学口腔顎顔面病態学講座 新潟大学顎顔面放射線学分野 金沢大学顎顔面口腔外科学分野 鶴見大学病理学講座 日本口腔外科学会研修施設 日本口腔腫瘍学会の研修施設・準研修施設

試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名

朝日大学病院 病院長 日下 義章

連絡先

朝日大学病院 口腔外科

電話番号：058-253-8001

氏名：畠山大二郎

